

「くじ」による落札者の決定方法

落札となるべき同価の入札者が二人以上ある場合のくじの方法は、次のとおりとし、これにより落札候補者（以下「落札者」という。）を決定します。

【 くじの方法 】

- ① 登録番号（※1）の下3桁、当該入札参加者数（※2）の合計数を落札者となるべき同価の入札者数で割り、余りの値を算出します。
- ② 申込書の受領日時が早い順に入札順位を決めます。（※3）
- ③ ②で決定した入札順位数と、①で算出した余りの値が一致した入札者が落札者となります。（余りが「1」の場合は入札順位1位、ただし、余りが「0」の場合は入札順位が最後位の入札者が落札。）

※1 登録番号

- ・上下水道局の事務処理にて付番する8桁の文書番号を言います。
- ・上下水道局の広告掲載募集ホームページに掲載します。

※2 当該入札参加者数

- ・見積書を期限までに提出した事業者の数です。
- ・上下水道局の広告掲載募集ホームページに掲載します。

※3 入札順位

- ・申込書のメール又はFAXの受領日時の早い順から1位、2位・・・とし、同時刻の受領があった場合は参加申請の早い順とします。

【 くじによる落札の例 】

同価の入札者が2者の場合、余りが 1：入札順位1位が落札
0：入札順位2位が落札

同価の入札者が3者の場合、余りが 1：入札順位1位が落札
2：入札順位2位が落札
0：入札順位3位が落札

実例)

登録番号13221820、入札参加者6社、落札者となるべき同価の入札者数が2者（A者、B者）で、入札書の受領日時は、A者がB者より早い場合。

- ・ $(820 + 6) \div 2 = 413$ 余り「0」
- ・ 入札順位：A者が1位、B者が2位

◎余りが「0」なので、入札順位2位（最後位）のB者が落札。